

「地域探究」1学期の取り組み

令和4年度入学生から、学校設定科目『地域探究』がスタートしました。今年度は『地域探究Ⅰ』、学年が上がるにつれ『地域探究Ⅱ』、『地域探究Ⅲ』と、地域の文化、産業、歴史、防災についてより深く学び、地域社会を支え高める意識と能力を養う事を目的としています。



50分も続いたことがあるそうで、両チームとも本気なんだと感じました。怪我の事例もありましたが、自分も参加してみたいと思いました。

感想② 刈和野の大綱引きは約600年もの歴史があると聞いてびっくりしました。直径80センチ、長さ200メートル、重さ20トンもあるなんて、さらに驚きました。たくさんの量の藁を使わなくてはいけないけれど、地元だけでは確保出来なくなってしまい、県外からも藁を買い取っているのが大変そうだと思います。私たちが縄作りに協力していくので、この歴史を繋げていってほしいです。



5月2日

大綱交流館を訪れ、**大綱引き保存会**の方から大綱引き行事の意義や歴史を教えていただき、地域行事のために、自分たちができることについて考察しました。

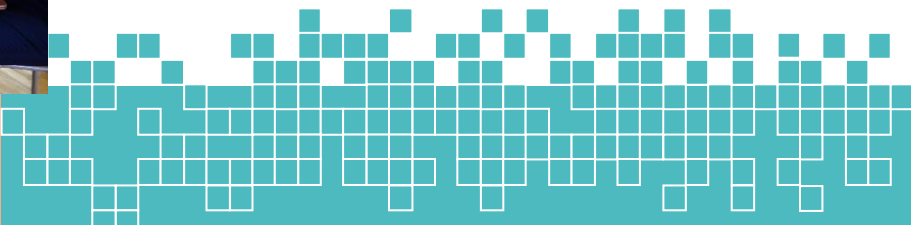
感想① 地域の方々は、本当にこの伝統を大切にしているということがよく分かりました。3ヶ月をかけて両町内で7000束の新しい藁で綱を作るようですが、ベテランでも1日に200メートルを3本しか作れないということを知って驚きました。綱引きは最長

5月31日

秋田県立公文書館副主幹 **畑中康博先生**をお招きし、秋田県公文書館所蔵の資料を活用して、西仙北地域等秋田県内の過去と現在の比較をすることにより、県内の歴史について理解を深めました。

感想① 今回分かったことは、刈和野の町は昔とあまり変わっていないということです。地図を見比べても、道や商店の位置も同じところが多くありました。そして刈和野は予想以上に歴史があることが分かりました。例えば、刈和野の北側は武士が住んでおり、南側は主に商人が住んでいたことなど今回学んだことが多くあり、勉強になりました。また、このような講話をやってほしいと思いました。

感想② 現在と昔の西仙北地域を改めて考えることができました。道路や川の位置は変わっていないことが多いことが分かり、刈和野の深い歴史を知ることができました。いつも何気なく通っている道も明日からは講義の内容を思い出しながら、登下校したいと思います。さらに西仙北地域のことを知りたいと思いました。





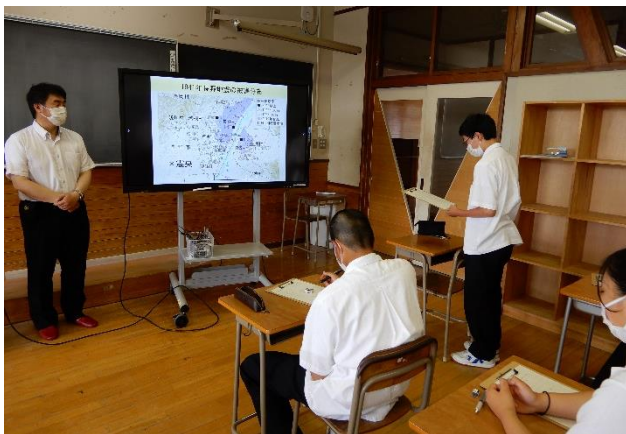
6月7日

大 仙市officialコンシェルジュ **このはるさん**をお招きし、情報発信の実際について理解を深め、地域社会のために自分たちができることについて考えました。後日、講義で学んだことを生かして、西仙北高校のおすすめスポットを動画撮影し、学校祭でたくさんの方に見ていただきました。

感想① 大仙市をPRするために自分たちで体験したり、フォロワーさんからのリクエストに応じて動画を制作しているのがすごいと思いました。動画にしてPRしているのがとても面白くて良かったです。私も大仙市民なので、もっと自分たちの住んでいる市について知りたくなりました。

感想② 今回の講演を聴いて、大仙市や秋田県全体のことを広めるために、自分達で撮影したり、フォロワーの視点になって考えたりと色々な工夫をされていてすごいなと思いました。また、撮影先で出会った人との縁を大事にされていていいなと思いました。私もそのような出会いを大事にしたいです。このはるさんの

動画を見て、秋田の知らないことをもっと知りたいと思いました。



7月11日

国 立大学法人**秋田大学地域防災減災総合研究センター** **水田敏彦教授**をお招きして、西仙北地域等秋田県内で発生した過去の地震災害を学び、理解を深めるとともに、今後の効果的な防災・減災活動について考えました。

感想① 今回の講義を通して、災害は繰り返し起こることを忘れてはいけないということが印象的でした。これからの防災のために、過去の地域の災害の記録やそれを元に作ったハザードマップというのがあることを知ることができました。そしてハザードマップが、実際に役立っていることがわかりました。

感想② 秋田県強首地震を知らなかったのが、このことについて学ぶことができて良かったです。この強首地震で大きな被害を受けた場所が自分の住んでいる地域だったので驚いたし、万が一のことを考えて私自身も生活したいと思いました。また、大雨の被害も大きい可能性があるため、ハザードマップでの確認をしっかりとりたいです。



7月19日

大 仙市**アーカイブズ**を訪問して、西仙北地域の災害の歴史に関する各種資料について学び、西仙北地域の防災について理解を深めました。

感想① 私達は災害についてもっと知るべきだと思いました。アーカイブズを通して秋田県の過去の災害を知り、過去の人々が災害の記録を残してくれてきたことに気がつくことができました。このような被害に遭わないためにはどうすればいいのか、どう工夫すれば防げるのかという考えをもてる良い機会になりました。わたしも自分が生きた時代の記録を次の世代の人々に繋げられることが出来るようにしていきたいと思いました。

感想② アーカイブズの詳しい説明を聞いて、その役割や100年間前の記録もデータ化し保管していることを知ることができました。さらに過去の災害データから、強首地震の大きさや、これから起こる災害の予防をしていることも知ることができました。